

あなたの 言語アクセス権 ニューヨーク州



Office of General Services
Office of Language Access

ニューヨーク州言語アクセス法

ニューヨーク州の住民は800以上の言語を話します。英語が堪能かどうかに関係なく、ニューヨーク州のすべての住民が州政府のサービスや援助を利用できるようにするため、キャシー・ホークル知事はニューヨーク州の言語アクセスポリシーを州法化するとともに、州の言語アクセス局（Office of Language Access）を開設しました。一般サービス局（Office of General Services）内に設置された言語アクセス局は、この法律の対象となるニューヨーク州の機関によるこの法律の効率的かつ効果的な実行に責任を負います。

この法律の下、州民にサービスまたは援助を提供するニューヨーク州の機関は以下を行う必要があります。

1. サービスや援助を受ける人に、アメリカ手話（American Sign Language、ASL）を含め、その人の主言語への通訳サービスを提供する。
2. サービスや援助に関連する重要な文書を、英語が不自由なニューヨーク州住民が最もよく話している、12の言語に翻訳する。州の機関は言語アクセス法に詳述されている基準に基づいて、重要な文書の翻訳言語にさらに4言語まで追加できる。
3. 言語アクセス局と協力してその機関の言語アクセス法の遵守を監督する、言語アクセスコーディネーター（Language Access Coordinator）を選出する。
4. その機関のウェブサイトに言語アクセスプラン（Language Access Plan）を掲載し、2年ごとに更新する。

言語アクセス局はこれらのサービスについて毎年報告書を発行します。

言語アクセス局と言語アクセス法が適用される州の機関についての詳細情報と、言語アクセスサービスを受けた際のフィードバックの送信については、[languageaccess.ny.gov](https://www.languageaccess.ny.gov)をご覧ください。

英語が不自由なニューヨーク州住民は250万人にもものぼります。英語以外に、ニューヨーク州で最も一般的に話されている12言語は以下のとおりです。

- アラビア語
- ベンガル語
- 中国語（広東語と標準語を含む）
- フランス語
- ハイチ・クレオール語
- イタリア語
- 韓国語
- ポーランド語
- ロシア語
- スペイン語
- ウルドゥー語
- イディッシュ語

「I Speak」（私が話す言語）カード

本冊子とともに「I Speak」（私が話す言語）カードが渡されます。このカードを使って希望する言語を特定することができます。カードを携帯して、言語アクセス法が適用されるニューヨーク州の機関でサービスや援助を要請する際に、スタッフにカードを提示してください。機関のスタッフにとって、あなたに適した通訳者を探す方法が分かりやすくなります。

このカードは携帯電話にダウンロードすることも可能です。以下の手順に従って行ってください。

携帯電話にカードをダウンロードする方法：

1. このQRコードをスキャンします。
2. 一覧からあなたの言語を選択します。
3. 右上のアイコンをクリックして、言語を携帯電話に保存します。
4. サービスや援助を受けるために州の機関を訪れる際には、このカードを開いてスタッフに提示してください。





ご存じでしたか...？

アメリカ手話（American Sign Language、ASL）は、米国とカナダで多くの人によって主な言語として利用されています。米国の聴覚障害者が最もよく使う手話はASLですが、世界的に共通なものではありません。イギリス手話、フランス手話、中国手話など、世界のさまざまな地域で異なる手話が使用されています。手話は話す言葉とは文の構造が大きく異なる場合があります。英語を第二言語として学ぶ人の場合と同じく、ASL利用者は英語でのコミュニケーションを困難に感じることもあるため、言語アクセス法が適用されるニューヨーク州の機関によるサービスや援助を求める際には、通訳を要請する権利があります。